学習内容報告書

学校名	学校法人三重高等学校三重中学校
授業者	片岡　洋平

1.　単元計画

1-1.　単元名

海の学校事前学習　～松名瀬ってどんなところ？～

1-2.　学年

１年

1-3.　教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

社会

1-4.　単元の概要

２編　日本のさまざまな地域 　４章　身近な地域の調査 　本単元では，まず，本校の生徒にとって地元である松名瀬干潟を用いて，その歴史をきっかけとして学び，それをクラス内で話し合うことで，　深く理解をする。

1-5.　単元設定の理由・ねらい

この地域の特色について多面的・多角的に考察することを主たるねらいとしている。

1-6.　育みたい資質や能力、態度

身近な地域の特色や課題について関心をもつことができる。 身近な地域について調査したことをもとに，その特色について考えたり，より魅力ある地域にするための課題や改善策について考えたりすることができる。 身近な地域の特色や課題について理解することができるとともに，地域の特色や課題をとらえる視点や方法について理解することができる。

1-7.　単元の展開（全１時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
	教員による資料の提示　歴史：奈良時代より明治・大正・昭和・平成にかけての松名瀬干潟の利用について。また、現在行われている取り組みについて紹介をする。(実習に向けて、事前に質問や自分の考え方をまとめておく)	資料提示･机間巡回･助言/ノートのチャックによる。資料は松阪・松名瀬海岸再発見プロジェクトより提供。

2.　学習活動の実際

2-1.　単元における位置づけ

単元　1　時間中の　1　時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目　／ 単元 15 時間中の 4,5 時間目

2-2.　本時の目標

・実際に調査に行く松名瀬の漁業の歴史と文化知る。これらを通して一つ一つ地域に歴史があることを学び、地域への理解を深める

・歴史を知ることで、現代の漁業がかかえる問題を考えることができる

2-3.　本時の展開

主な学習活動 ／ 反応	教師の指導・支援 ／ 評価の視点（方法）
「海の恵み、あなたは何を思い浮かべますか？」 魚、貝など 「松阪の地図です。地名に昔盛んだった産業が隠されています。」 塩浜　塩業 塩業の名寄張を提示 「現在の松名瀬付近の土地利用はなんですか？」 　田んぼ 「今は、塩業を全くやっていないが、それはなぜか。この付近で人の名前を取り入れた地名があります。どこにあるでしょう？」 地図を参考に数分探させる。 正解は「後藤」 後藤左衛門の話と当時の新田開発法の話をする。 「松名瀬の主要な漁業はなんでしょう？」　海苔養殖と貝 黒ノリ景気と言われるほど、発展した。 『伊勢湾は豊かな漁場だった』より喜多さんの話を読む 『伊勢湾は豊かな漁場だった』より小浜さんの話を読む 現在の松阪の漁業 松阪漁業のHP。または海苔を見せる。海苔テラスの紹介。海苔オーナー制度	身近な海のものを思い起こさせる。 塩業の実際の資料を見て塩業が盛んだったことを実感させる。 伝えたいこと 藩の政策により塩業を辞めさせられ、田畑に変えさせられたこと。なかなかうまくいかなかった新田開発を助けた後藤の活躍を話す。 海苔を持ってくる

3.　今回の活動の自己評価

　社会科でも、海の学校を扱うことで、多面的に海を学習することができた。生徒たちが海の学校で行った場所を学ぶことは地域の深い理解に繋がり、自分たちの生活と学習を結びつけることに繋がった。今回は、地名を導入として、地図の中にも人の生活がつまっていることを感じさせようと考えた。地図の学習が海と人とのつながりや生活を示していることを学習することができ、新たな視点を与えることができた。

　実際の漁業者の体験談を生徒たちに見せることによって、より身近に漁業を捉えてもらうようにした。海の学校で実際に見聞きするときに、今もなおその地域の人々が暮らしていることを再確認し、深い理解させることにつなげることができた。

4.　今後の課題

・今回、その土地の歴史という見方で事前授業を行ったが、海の学校のテーマである「多面的にものを見る」ということにどれだけ明確につなげていくか。
・実際に海の学校に行ったときに、漁業者の話や市の人の話にどれだけリンクさせられるか。
・社会科として、中１の授業だけでなく、中２の授業、中３の授業でどうやって学習をつなげていくか。

5.　本学習内容報告書活用にあたっての留意点

準備・資料等

『松名瀬干潟を含む黒部地区の歴史を踏まえた海と人との関わりの考察』
三重大学生物資源学部　押田氏の卒業論文
『伊勢湾は豊かな漁場だった』編：海の博物館、発行：三重県漁業組合連合会
『松阪市史』第十二巻史料編近世（２）経済　編：松阪市史編纂委員会　発行：畠山滋
『松阪市史』第十巻史料編近世（２）経済　編：松阪市史編纂委員会　発行：畠山滋
『江戸時代　人づくり　風土記㉔』著：組本社　発行：農山漁村文化協会
『松阪の町の歴史』著：島側安太郎　発行：松阪郷土史刊行会
『松ヶ崎風土記』著：三渡俊一郎
『松阪開府 400 年史』編：松阪市